

(第1号様式・第9関係)

《2022年度第2期 芸術文化魅力創出助成》 助成金交付申請書

公益財団法人東京都歴史文化財団 理事長 殿

申請団体名： 団体調書に記載の内容と同一の表記にしてください。
 団体（事務所）所在地： 郵便番号、マンション名・ビル名及び部屋番号、「〇〇様方」まで記入してください。
 代表者役職名・氏名： 代表者の役職名を必ず記入してください。押印は必要ありません。

下記の活動を行いたいのので、芸術文化魅力創出助成金交付要綱に基づき助成金の交付を申請します。
 なお、申請関係書類に記載した個人情報については、公募ガイドラインに基づき、公益財団法人東京都歴史文化財団へ提供・利用することについて承諾いたします。

フリガナ	
申請事業名	事業名、又はプロジェクト名を記入してください。

●企画テーマ 申請企画の主たるテーマをいずれか1つ選択してください。 該当する口を■または✓で1つ選択してください。

<input type="checkbox"/> 地域活性化	<input checked="" type="checkbox"/> インクルージョン&サステナビリティ	<input type="checkbox"/> サイェンス&アート	<input type="checkbox"/> 東京の魅力発信となる芸術文化
--------------------------------	---	------------------------------------	---

●サポート費を希望しますか？以下A、B、Cのいずれか1つを選択してください。

サポート費を希望する場合は、AもしくはBの、希望しない場合はCの口を■か✓で選択してください。

<input checked="" type="checkbox"/> A:アクセシビリティ・サポート費	<input type="checkbox"/> B:デザイン開発サポート費	<input type="checkbox"/> C:サポート費は希望しない
--	--	--

助成申請額	収支予算書の「C」に記載の助成申請額と一致しているかご確認の上、助成申請額を「円」で記入してください。 *助成対象経費の2分の1以内で、かつ2,000万円が上限額													
助成対象経費小計	収支予算書の「A」に記載の金額と一致しているかご確認の上、助成対象経費小計を「円」で記入してください。													
サポート費申請額 ※希望する場合	収支予算書の「E」に記載の金額と一致しているかご確認の上、助成対象経費小計を「円」で記入してください。 *サポート費を希望する場合													
事業費総額	収支予算書に記載の収入合計・支出合計と金額が一致しているかご確認の上、 事業費総額を「円」で記入してください。 *事業費はガイドラインの「別表1」に掲載する助成対象経費及び助成対象外経費の合計額に相当します。													
実施期間	開始日 (西暦)		年		月		日	終了日 (西暦)		年		月		日
公演・展示等の場合は、初日から最終日までを記入してください。そのほかの場合は、準備期間は含めず、本番実施日・期間のみを記入してください。断続的に実施する場合は、開始日と終了日を記入してください。申請する事業をオンラインで公開する場合は、配信終了日を終了日としてください。														
実施会場								会場所在地 (住所)	所在地については、会場の住所を記入してください。					
実施回数 または日数								参加者・観客数 (見込)	人					

申請事業の概要 (それぞれ 200 字 以内)	① 事業の趣旨・目的
	それぞれの項目について、簡潔に 200 字以内で記入してください。補足資料として企画書等を提出する場合も「別紙参照」とはせず、必ず記入してください。
	② 活動の内容（プログラム、主なアーティスト等）
申請事業の概要	③ 事業スケジュール
	事業の準備期間も含めて、事業全体のスケジュールを記入してください。

	名義	団体名	役割
主催・共催団体と その役割	主催名義を必ず記入してください(原則として申請団体名となります)。申請団体の他にも主催者・共催者がいる場合、必ず全ての団体名を記入してください。		

	名義	団体名	役割
助成・提携・協賛・ 後援等とその役割	助成団体等からの助成金・補助金、企業協賛金等について必ず記入してください。申請中の場合は(申請中)、申請予定の場合は(申請予定)としてください。その他についても役割や内容を具体的に記入してください。		

●この申請事業の実施に至る経緯・企画背景について具体的にお書きください。(350 字程度)
各項目について、簡潔かつ具体的に 350 字程度で記入してください。補足資料として企画書等を提出する場合も「別紙参照」とはせず、必ず記入してください。
●プログラムでアピールできるポイントをお書きください。(350 字程度)
●この申請事業を実施することで、今後、当該分野や周辺分野、あるいは社会に対してどのような意義や波及効果があると思いますか？(350 字程度)

●今後の事業の予定・展開についてご記入ください (350字程度)

各項目について、簡潔かつ具体的に 350 字程度で記入してください。補足資料として企画書等を提出する場合も「別紙参照」とはせず、必ず記入してください。

(※サポート費を希望する場合)

●サポート費の使用目的と活用内容について具体的にお書きください。

サポート費を希望する場合は、必ず記入してください。